

	Question	Answer
◆新型コロナウイルス禍における対応について 対象：2021年4月入学博士後期課程（冬期）及び2021年4月入学博士前期課程（冬期）		
1	外部英語試験を受験済みですが、公式スコアの提出が 願期間までに間に合わないかもしれません。その場合、特別 措置の英語能力審査を受けることはできますか？	新型コロナウイルス禍においては、国際郵便物の配達に通常より日数を要する 可能性があることを鑑み、スコア原本の出願期間内の提出が間に合わない 場合は、事前に教務係へご相談ください。 また、冬期入試では、英語能力審査は実施しません。
2	英語能力審査が冬期入試で実施されないのは、なぜです か？	秋期入試出願者においては、外部英語試験が新型コロナウイルス禍で中止 され受験が出来ない受験者が想定されましたが、学生募集要項公表後は、 各外部英語試験の実施が確認されていますので、冬期入試においては、入 学試験当日の研究科独自の英語能力審査は実施いたしません。
◆出願資格について		
3	年齢制限はありますか？	年齢制限はありません。 個々の経験をいかした形で研究を進めていただけるかと存じます。
◆出願書類について		
4	TOEFLのスコアをETSに請求する際に、ETSへのリクエスト フォームの記入に必要な情報（Institution code、 Department code）を教えてください。	「Institution code」は募集要項記載のとおり「7803」です。 「Department code」は「99」と記入してください。「Name of Department」は記入いただく必要はありません。
5	外部英語試験のスコアは、再発行されたもので問題ないで しょうか？	問題ありません。 外部英語試験のスコア原本の提出は、次のいずれの方法でも結構です。 ・出願者から他の出願書類と併せて提出 ・試験実施機関（ETS、IELTS等）から教務係に直送
6	TOEFLのスコアにTest Date ScoresとMyBest Scores の両方が表示されますが、どちらのスコアが採用されますか	本研究科では、My Best Scoresは採用していません。Test Date Scores（当該試験日のスコア）を利用します。
7	外部英語試験を過去に複数回受験しています。どのスコア を提出すればよいでしょうか？	出願期間から5年以内のスコア原本であれば、出願者自身が一番良いと思 うスコアを提出して下さい。違う種別のスコア（TOEIC、TOEFL、IELTS）が 複数ある場合は、2種類以上提出いただくことも可能です。
8	出願期間後に届いた外部英語試験スコアがより高い点数 の場合、出願時に提出したスコアと差し替えることができ ますか？	出願期間後に、差し替えることはできません。
9	出願期間終了日までにETSからの発行申請をしておけばよ いのでしょうか？	出願期間内にスコア原本が本研究科に届くことが必要です。
10	ETSに発行申請すると大阪大学でもオンラインでTOEFLの スコアを確認する制度があるそうですが？	出願期間内にスコア原本を提出いただく必要があります。本研究科からETS に確認するという対応はしておりません。
11	アメリカの大学院修士課程を修了しています。外部英語試 験スコアの提出は免除になりますか？	英語を公用語とする国に所在する大学を卒業された場合も、免除されませ ん。
12	外国人留学生として出願する場合、必ず日本語能力証明 書の提出が必要ですか？	日本語能力の証明の提出は必須ではありません。証明できるものがない場 合は、提出しなくても結構です。
◆入学試験について		

	Question	Answer
13	過去問はありますか？	本研究科の入学選抜は、学力検査（口述試験及び外部英語試験のスコア）、研究計画書等を総合して行います。口述試験の問題は公表しておりません。
14	外部英語試験の基準点を教えてください。	公表しておりません。
15	社会人又は外国人留学生の入学選抜方法は、異なる扱いでしょうか。	入学願書において、出願者の区分（一般・社会人・外国人留学生）を選択いただきますが、選抜方法は同じ扱いです。
16	秋期入試に不合格となった場合は、冬期入試を受験することはできますか？	可能です。なお、検定料の納入を含め、再度出願手続きが必要です。
◆その他		
17	指導を希望する教員に、出願前にコンタクトする必要がありますか？	出願前に希望教員の内諾を得る必要はありません。ただし、博士後期課程への入学を希望される場合は、研究分野が合うかどうかについて、希望教員に事前に確認されることをお勧めします。
18	教員を紹介してください。	教員の紹介は行っておりません。各教員の専門分野・研究業績等については、研究科ウェブサイトの「教員紹介」を参照してください。
19	「国際公共政策専攻」と「比較公共政策専攻」の違いを教えてください。	カリキュラム等、特段の違いはございません。出願の際には、第一希望教員の所属専攻をご記入ください。
20	奨学金制度について教えてください。	研究科独自の奨学金制度はありませんが、日本学生支援機構、地方公共団体および民間団体の奨学金に申請することができます。 【参考（大学HP）】 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar
21	OSIPPのインターンシップ科目の内容を教えてください。	授業内容としては、基本的に、情報を提供した上で、実施先は学生本人が探します。授業の特徴としては、受講者間でインターン先や進捗状況等の情報を共有します。卒業生も含め過去にインターンシップを実施した学生の話など、様々な情報を共有しながら学びます。一定期間のインターンシップに参加し、レポートを作成し、受講者間で情報を共有する、という活動に対し単位を付与する扱いです。
22	海外の機関でもインターンシップを実施できるとのこと。期間が長期なのか短期なのか教えてください。	期間の指定はありません。基本的にはインターン先の機関と学生の間で決めていただきます。留意点として、インターンシップ実施期間が授業期間に重なる場合は、授業の履修ができず単位を取得できない可能性があります。また、実施期間によっては、標準修業年限（MCは2年、DCは3年）での課程修了が難しい場合もあります。ただし、多くのOSIPP科目においては、学生のインターンシップを支援するために柔軟な対応をとっています。例えば、試験をレポート提出で代用する措置などがあります。実績としては、国際機関では数か月、3か月、6か月などが多いようです。国内の民間企業や省庁でのインターンシップは、例えば夏休み中に行うようなケースが多いです。